

## 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期間	
5217	マイコンプログラミング基礎(2日間コース) —デジタル信号およびアナログ信号の取扱いと出力制御—	令和8年8月6日(木)～8月7日(金)	
開催会場	職業能力開発総合大学校(東京都小平市)	定員	日数
		6	2
研修種別	技能・技術分野 電子情報	技能・技術レベル L3	技能・技術要素 パワーエレクトロニクス技術
研修のねらい 及び 到達目標	マイクロコンピュータ(マイコン)は、様々な電気製品に活用されています。最近のマイコンは、デジタル信号だけでなくアナログ信号の取扱いができる製品が出現し、その利用範囲が拡大しています。アナログ技術者の減少も併せ、マイコン技術者養成のための訓練コースも増加しています。そこで本コースでは、マイコンの基本的な構造を理解し、アナログ信号とデジタル信号を取り扱うペリフェラルを動作させる方法(組み込みプログラミング)を習得します。 (到達目標) ・割り込みを使ったプログラミングができる ・ペリフェラルの構造について理解し、DAC、ADC、PWM等を活用した開発ができる ・ドライバを用いたモータ変速制御により、電源・モータなど駆動系への実装ができる		
最低限 必要な知識	四則演算等の初步的なC言語のプログラミングの経験がある。 (C言語に自信のない方は、「マイコンプログラミング導入」の後に受講されることをお勧めします)		
研修内容	項目(予定)	講義	実技・演習
	1 マイコンの基礎 (1) マイコンの概要 (2) マイコンの最新動向 2 マイコンの使用方法 (1) 内部構造とコア (2) 開発環境について 3 開発環境の構築と操作方法 4 プログラミング実習 (1) コアと基本部分の設定 (2) ペリフェラルの構造と設定 (3) デジタル入出力の設定(I/O) (4) コード生成(MCC) (5) 割り込み・タイマ設定 (6) アナログデジタル変換(ADC) (7) PWM出力(疑似アナログ出力) (8) デジタルアナログ変換(DAC) (9) マイコン内蔵アナログデバイス(オペアンプ) (10) モータ駆動(PWMによる速度制御) 5 まとめ・研修効果を職業訓練に展開するためのディスカッション	1.5H  1.5H  1H 7.5H  0.5H  3.5H	8.5H
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	元大手マイコンメーカーの現場経験豊富な講師が、マイコンのプログラミング基礎からアプリケーションへの応用までやさしく解説します。マイコン初心者を受講者として想定していますが、経験者でも満足いただける内容となっています。職業大では実際の教材への応用も含めた3日間コースも開講しています。		
研修成果が 活用できる 職務	職務1 電子回路設計	職務2 マイクロプロセッサ	職務の内容 I/Oインターフェース設計
	電子回路設計	マイクロプロセッサ	プログラミング開発
担当教員 (予定)	五十嵐 智彦、吉水 健剛(電気設備ユニット)、外部講師		
使用する 機器等	マイコン評価ボード(microchip DM164137)、マイコン(PIC16F1769-I/P)、パソコン、オシロスコープ、ブレッドボード他		
受講者が用意 するテキスト (予定)			